

時局日誌（十九）

H

Y

生

二月十六日

冀中地區掃蕩の元泉快速部隊は十一時半倉房口南方の敵七百を撃破更に草庄附近で二千餘の敵部隊と衝突局部包囲を敢行激戦の後その主力を殲滅した更に龍華鎮に進出した敵は鹿鎧麟麾下の保安第二旅の二個隊及び特務大隊の二千五百で、旅長義省三以下營長その他の遺棄死體六百餘、捕虜五十（營長以下將校多數）鹵獲品機銃五、小銃二百三十五、馬二十六、手榴彈三十、槍百二十、その他多數に上り赫々たる殲滅振を發揮した。保定東方地區掃蕩中の細川部隊は十二日容城南方

地區において交戦五回合計一千の敵を撃破し安新を占領した、我が須藤飛行部隊はこれと密接なる連絡を保ち安新附近の残敵を爆撃、地上部隊の安新占領六容易ならしめた、敵は死體百二十を遺棄した。冀中地區掃蕩開始と共に我軍は更に山東江蘇の各所で痛烈に敵を剿滅した。

山東方面 一、〇〇部隊主力は五日山東東東北部廣饒西南地圖朱家臺北高陽一帶を肅清、第八路軍警備隊七百（中騎馬百）を攻撃、敵遺棄死體百五十、佐藤中尉の率ゐる一隊は十三日拂曉高莊（魯北、蒲臺西南十五キロ）附近の六百の敵を急撃して潰走せしめた、敵遺棄死體二十六、捕虜四高田討伐隊は十六日羅家庄蠢動する紅槍會匪百を急撃敵遺棄死體二十、捕虜三、我鹵獲砲二門、小銃十。

江蘇方面 一、中島部隊は十三日官湖鎮（邳縣東南六キロ）西南方で三百及び百五十を撃破し邳縣城に入城した敵遺棄死體二十、鹵獲品迫擊砲二、小銃十、更に同部隊主力は十三日官湖鎮東南方で韓德勤麾下の江蘇警備軍第四路の一千五百と遭遇、これを撃破潰走せしめた、敵遺棄死體五十、二、我軍に協力した李冠英部隊は十三日官湖鎮を占領した。

二月十七日

防空建築規則（内務省令第五號）公布。

南部山西の頑敵を急追中の三村部隊は九

日未明を期して翼城東南方八キロ屋山村

北常鎮、南史村の三角地帯の山嶺に據る

中央軍約二千を攻撃わが部隊は完全に敵

陣地を占領し同地一帯の敵を掃蕩した敵

の損害遭棄死體百二十。

二月十八日

國民職業能力申告令第十四條ノ規定に依

る官廳被用者ノ特例ニ關スル件（閣令大

藏省令陸軍省令海軍省令遞信省令鐵道省

令鐵道省令第一號）陸軍補充令中改正（勅

令第三一號）公布。

豫て現地に於て進められて來た日本宗

教各派大同團結の計畫は愈々具體化近衛

文麿公を總裁に大谷光瑞氏を副總裁に推

戴することとなつた。新團體は中支宗教

大同聯盟と稱し日本宗教が大同團結し

て日支團結して日支宗教の提携を圖り宗

教活動を通じて東亞和平に貢獻せんとす

るもので、本部を上海に置き民衆教化を

主たる事業とするが、理事長には神道代

表烟一、佛教代表福田闡正、キリスト教代

表小林誠三氏の中から推薦される管であ

る。

二月十九日

去る一月下旬より上海共同租界に於て

は維新政府附係者に對するテロが頻々と

して行はれ、しかも犯人は一名も逮捕さ

れる状態であるが、去る十六日には我

宍戸陸戰隊司令官より工部局に對して治

安維持方につき抗議的申入れを行つた矢

先き舊正月に當る十九日午後七時十五分

維新政府外交部長陳鏞氏が暗殺された事

件が突發し兩に鎖されて不氣味な殺氣漲

る上海の舊正月を血に彩つてしまつた。

遭難せる陳鏞氏は直に海格路の病院に運

ばれ檢視を行つた結果彈丸は頸動脈部に

左右各一發、銃彈貫通して即死してゐた

席してゐたが犯人は裏門から潜入し直ち

に應接室を襲ひ陳鏞にピストルを突付け亂

射し即死するを見届けた後「蔣政權萬歳

抵抗必勝」と書いた傳單を室内に撒布し

悠々正門から出で護衛の拳銃を奪取して

何處へか拉致した。

二月廿日

支那事變（含張鼓峯事件）ニ因ル戰傷病

陸海軍軍人ノ出迎、見舞又ハ看護ノ爲其

ノ家族ガ旅行スル場合ノ旅客運賃割引方

（鐵道省告示第二五號）公布。

我が陸軍の羣鷹隊は二十日再び蘭州飛

行場に對して第二回目の大空襲を斷行し

た敵は再び數十機の戰闘機を以て我に肉

薄前回にも勝る激烈な空中戦を開戦した

が我が無敵空軍の威力は挑み掛る敵戰闘

機十數機、地上にあつた大小飛行機十數

機を擊十數機或は爆碎完膚なきまでに痛撃

を與へて夕陽を浴び悠々歸還した。

官立工業大學官制中改正（勅令第三二號）

資源ニ關スル標準用語中電氣ニ關スルモ

ノ、決定(内閣告示第一號)公布。

廿一日午前十時我が航空隊〇機は深圳を襲ひ、同地の軍事施設を猛爆多大の損害を與へた。廿日蘭州を猛爆撃した陸の荒鷲は休養の暇もなく、二十一日は田中友、鈴木、佐瀬、原田、坂口各部隊の編隊で午後三時潼關に殲彈の雨を降らせ、同市街を完膚無きまでに粉碎慘々歸還した。

海軍封鎖部隊の一部は昨二十日浙江省北部の海港海門の閉塞作業を完了した。

浙江省より重慶に達した支那側報道によれば多數の日本艦船は海門沖に集結し、うち數隻は上陸を試みるものゝ如く、支那側設置の防材を突破し港内に進入したなほ上海、浙江間の船舶の航行は中絶されたと

我が陸軍航空部隊は二十日午後三時四十五分より四時十分に至る間その數十機大編隊軍をもつて再び敵軍西北空軍大根據地たる蘭州を空襲し敵飛行機及び地

上軍事施設に對し殲滅的大打撃を與へたり、即ち蘭州上空に到るや敵機四、五十機と壯烈なる空中戦闘を交へ忽その十六を擊墜し且蘭州東及び西飛行場の敵機多數を爆撃破壊更に市街敵軍事施設を爆撃しこれに多大の損害を與へたり、我が一機は蘭州附近において不幸敵弾を受け壯烈なる自爆を決行せり、その他は何れも奮闘激戦の痕を留むるも空前の戦果を收めて意氣揚々基地に歸還せり。

帝大問題は遂に左の處置を視るに至つた。

一、同日午前湖南省東北部平江北方の敵記質所を攻撃し多大の戦果を收め全機無事歸還せり。

二月二十二日

中支方面に於て海軍航空隊は昨廿一日左記質所を攻撃し多大の戦果を收め全機無事歸還せり。

一、同日午前湖南省東北部平江北方の敵據點を爆撃しこれに多大の損害を與へたり。

二、宜昌攻撃部隊は同市東部に全彈を集中投下し四ヶ所より大火災を生ぜしめた

三、襄陽及び荆門に向へる部隊はそれぞれ市中の重要軍事施設多數を爆破し荆門に於て大建築物二を炎上せしめた。

行中突如二名の壯漢がピストルを駆して李氏の身邊に迫り忽ち五發を亂射してその場に李氏を躊躇せず犯人は直に混雜に紛れて逃走、その姿を晦して了つた。朱に染つた、李氏の體は直に海格路の赤十字病院へ擔ぎ込まれたが、その途中同十五分絶命した。

大正十一年大藏省令第三十三號中改正
(會計規則第九六條ニ關スル件) 大藏省
令第二號) 公布

舊正月の十九日を期し江南、江北各戰線では一齊に痛烈な討匪戰を行つたがその狀況は左の如くである。

小川部隊は江北揚州東方三里大橋鎮にある匪首方鈞の根據地を急襲、暴風雨の中敵五百と壯烈な戰闘を重ねて午後五時同部落を占領、更に南方に敵を追つて果敢なる追擊戦を展開、揚子江岸で待伏せた我水路軍と協力してこれを撃滅し、擊滅的打撃を與へた、敵の遺棄死體は九十三大橋鎮の兵工廠からマキシム機関銃四、小銃二千六百、火薬十八俵、機關砲、ラソチ等の戰利品を多數鹵獲した、我方の損害なし△江北蘆州東南方で十九日午後四時頃市川部隊は新編四軍七百と交戦してこれを撃滅、敵の遺棄死體は百三十三に上つたわが方戰死三、又二十一日にも蘆州西北方で土匪二百を撃退△津浦線明

光西方で五十君部隊は十七日敵六百を潰滅その他二十一日朝縣南面でも匪賊百を擒玉に上げた。

陸軍航空隊は快晴の二十三日赤都激州に三度目の大空襲を行ひ激州市街に各互弾の雨を降らせた、部隊が激州上空に達すれば小癪にもこの日も敵機十、イ十六、カーチスホーク等數十機が遊弋してゐる物凄い空中戰息詰まる二十餘間、確實な射手と旺盛な士氣の前に敵機は次々に火を吐いて墜落する。この間激州市街に巨弾の雨を降らせ正確に命中し同市街は天に冲する猛火に包まれる中を堂々鵬翼を張り夕陽を浴びて〇〇基地に歸還した。この戰闘で大村孝一中封

即ち數十機より成る大編隊群は午後二時五十分頃蘭州上空に於て敵戰闘機二十數機と猛烈なる空中戰を交へつた蘭州飛行場及び市街の軍事施設を爆破せり(戰果は調査中)△又他の大編隊は正午頃平涼を空襲しその軍事施設を爆撃し全彈目標に命中せり△又別に一編隊は寶雞に敵機を求めて進攻せるも空地共に敵機を見ず、地上の軍事施設を攻撃せり。

米國議會下院は海軍根據地擴充案により例のグアム島防備條項削除の件に關し一九三對一六四の無記名投票を行つたが其結果は二〇五票對一六八票でグアム島防備條項削除案が正式に可決された。

二月二十四日

毛櫛樓配給統制々規則(商工省令第一三號)公布。

官吏ノ獨善相剋を戒むる内閣總理大臣ハ訓示(内閣訓示號外)官報を以て公示せられた其の要點は左の如きものである。
一、苟も官僚獨善の非難を受け官民相反

(金澤市出身)の機は實に百八十發の敵弾を受け同中尉は右腕に貫通銃創を受けたが敵に多大の損害を與へた。

二十三日午後九時(一)飽迄敵空軍の撃滅を期する我が陸軍航空部隊は二十三日三度敵空軍の大根據地激州を空襲せり、

するが如き印象を國民に與へざるやう嚴

重に注意し官紀の振肅を嚴に圖ること。

一、事變の結果官廳事務が多忙を極めて來たが努力して事務の簡捷を圖り能率の増進を圖る事。

一、各般の統後施設についてはその措置を誤ることなく敏活適切なる方法を講じ苟も巧遅の誘を招かざること

一、一般民衆に直接觸する官廳の日常事務については一段と懇切なる態度をもつて臨み凡ゆる機會に官民一致の精神發揚に努めること。

廬山山嶺の外人は我方との打合通り二十三日下山したが英米人の夫婦二組は下山せず結局四十三名は同日午後六時半九江着うちイギリス人十三名、アメリカ人八名、ドイツ、ベルギー人各三名、スエーデン人五名、ロンヤ、ラトヴィヤ人各一名計三十四名はわが〇〇丸に乗船して廿三日午前十一時上海に向つた尙アメリカ人一名は同國軍艦に乗り残る英獨各四名

は九江に滯在する

二月二十五日

わが軍は二十日天門を占領し二十三日新垣附近において北上中の數日の敵と遭遇戦ひを交へこれを擊退追及し同日夕刻漢水の要衝岳口鎮を占領し漢水を制扼せり昨年十一月我が原田部隊の蘭州空襲當時同飛行場に在つた敵機は僅々七十數機と謂はれ空中に認められたもの十六機のみで更に高射砲彈は遂に一發も發せられなかつた貧弱さであつたが去る十二日から開始された陸軍の爆撃隊の蘭州空爆の際は敵は常に數十數を以て我が迎へ激烈なる空中戦を展開する一方高角火器の對空射撃も相當熾烈なものあり爆墜又は爆碎の機種も數種に上つてゐる事實は蘭州が如何に敵航空地として躍進しつゝあるかを雄辯に物語つてゐる。

二月二十五日聖人嶺を奪取せる我が軍は依然攻撃を續行し二十六日午後一時完全に雁門口一帯の高地線を占領更に敗敵を急追して午後四時沙洋鎮東方約二十キロ王家房南方の線に進出せり。

ソヴェエトの外蒙制覇に一轉機を劃するものとして注目されてゐたキヤフタ、ウランバートル間の鐵道敷設工事は昨年末に至つて完成してゐることが判明した、かくて外蒙古心臟部と極東ソ聯とを結ぶウランウデ（舊名ウエルフネウデンスク）、ウランバートル（舊名庫倫）間六百

南支方面海軍部隊の活躍

一、海南島に於ける海軍陸戰隊の一部は

崖縣附落の掃蕩を實施せる所敵兵器彈藥若干を押收せり、尙一部航空部隊は本掃蕩戦に協力せる外海南島南部の偵察を實施せり、他の有力なる航空部隊は福州、廈門、油頭方面の偵察攻撃を實施し廣東省油尾港に於ける敵舟艇を爆撃これに

損害を與へたり、更に別の航空部隊は雷州角附近的軍需品倉庫らしき建物を爆撃炎上せしめ多大の損害を與へたり。

キロには外蒙古最初の赤色列車が黒い煙を吐いて運行、蒙古草原に凡そ不似合な近代風景を描き出すこととなつた。

二月二十八日

北支那開發株式會社法中の規定ニ依ル計算方法（閣令第一號）中支那振興株式會社法中規定ニ依ル計算方法（閣令第二號）公布。

上海テロ事件に關する二月二十五日附

工部局よりの回答に對し、現地陸海外三省協議の上回答に對する我方の見解を更に工部局宛申入れることとなりたる結果、廿八日午後四時三浦總領事、廣田大佐光延中佐は工部局に市參事會議長フランクリン氏を往訪し我方返簡を手交せり。

わが陸軍航空隊は地上部隊の攻撃に協力し、二十八日午前十一時頃密雲を衝き原田、秋山兩編隊機は鍾祥及び隨縣を空襲し、各地に集結中の敵に猛射を浴びせたが敵は一彈も應戦し得ず狼狽して逃げ

惑ふのみであつた。

方十五キロの敵據點清水營を交戦時餘にして占領した、これにより漢口宜昌公路南方山嶺地帶に據る張自忠軍約四ヶ師は全く退路を遮断され混亂を極めてゐる。

○○快速部隊有富、佐久間、加藤、谷、刈谷各部隊が二十二日皂市出發以來二十六日追撃路上最大の難關たる聖人嶺突破までに敵に與へたる損害は遺棄死體二百五十、捕虜十五、その他小銃、彈藥等多數を鹵獲したわが軍の損害は戰死三負傷二十である。我が○○部隊の一月下旬より二月末迄の杭州附近に於ける戰績左の如し△討伐回數九七△敵遺棄死體八六六△捕虜三五△鹵獲品迫撃砲一、小銃二二〇、機關槍九、彈藥四〇、九一五。

三月一日
物價委員會令中改正（勅令第三六號）
外國人ノ入國滯在及退去ニ關スル件（内

務省令第六號）兵役法施行規則中改正（陸軍省令第六號）公布。

内務關係の異動左の如し。

青森縣知事 小河 正儀

任三重縣知事
（兼）内務講習所教授 鈴木 登
任青森縣知事
（兼）内務講習所教授 鈴木 登

その建國七周年を祝福するため一日午後零時半から麴町の外相官邸で有田外相招待の午餐會が催された。

三月一日午後三時四十分大阪府北河内郡京阪沿線枚方町陸軍火薬庫より發火し消防隊出動して消火に努力中三時十四分頃突如大音響とともに爆發し爆音は京阪一帯に響き渡つた大阪府警察部發表する所は左の如し。

一、焼失家屋は詳細不明なるも約五、六百戸の見込み
一、負傷者は約二百名位なるも調査中
一、避難者は京都府下へ約八百名大阪府

下に約五千名あるも何れも平穏に収容せ

リ

一、知事は午後八時三十分出發阪大病院へ負傷者を見舞ひ引續き現地に至り警戒

救護員を督勵しつゝあり

三月二日

防共協定滿洲國參加（條約第一號）公布

宮内省告示（第五號）皇后陛下本日午後四時卅五分宮城ニ於テ御分娩内親王御誕生アラセラル 宮内大臣 松平恒雄

我が今次作戦により陸の各部隊の猛進撃を察知して淮陰〇〇敵匪は極度に狼狽し二十八日午後その一部は〇〇よりシャンクを利用して大運河上を南下するとの報に接した〇〇艦上に待機の我が海の荒鷺は〇〇艦上より直に出動暗雲低く垂れ下がる大運河に沿うて南下の野砲三門をする敵遁走部隊の真只中に猛爆を加へて上に歸還した。

漢水東方戰線を西進中の山田部隊は二

日午前十時半天門の西北方官橋舗を攻略し更に雨を冒してその西方陳家集に在る敵陣地を攻撃中。

三月三日

租界テロ事件に對しては工部局側の二十日付回答に對し二十八日日本側より受

諾の書翰を手交したので一應外交交渉と

しては一段落の形となつてゐたが、右書翰と同時に日本側より提出された。テロ

取締實施についての諒解事項に關する覺

書に對しては工部局側はなほその調印を

離つてゐた、よつて我方は二日フランク

リン市參會會議長に對しその調印方を督促したところ、フランクリン氏は三日午後三時半總領事館に三浦總領事を訪問右

諒解事項に關する覺書につき工部局側と

してはこれを全部的に承諾することは不

可能なりとして修正方を要求會談約二時

間餘にわたつたがつひに双方の意見一致を見るに至らず物別れとなつたよ

つて三浦總領事は直に廣田陸軍大佐、光

延海軍中佐等を招き日本側の態度につき

協議を重ねた結果同六時半より我三代表

は同道してフランクリン氏を訪問引續き會談を行つた結果フランクリン議長も遂に我見解を諒承しこゝに双方の意見は完全に一致するに至つた。

應城荆這方面に作戦中の我が軍は三月二日午後二時漢水の要衝舊口鎮を占領せり漢口—宜昌公路にある敵第一線陣地を突破追撃する我軍は二日孫家橋西北方一

キロ陳家集附近の敵第二線陣地を猛攻し同日夕刻同陣を完全に占領した。又〇地點の響水口鎮の前面で二度目的小戰闘があつただけで午後二時四十分目的地點に投錨陸軍部隊は悠々上陸を完了し勇躍進發した。

〇〇河潮流航の挺身隊に引續き二日午後六時に邊野部隊及び和田部隊の各一部が連水に入り淮陰方面に向け進撃中である

澤田部隊は二日午前十一時三十分〇〇に南進更に敗敵を追ひ午後四時三十分

錢集に突入同地を占領した。

三月四日

輸出綿製品配給統制規則中改正（商工省
令第一四號）公布

陸海軍の密接なる共同作戦により灌河

（北潮河）週江上陸に成功せる北支軍〇〇
兵團は本日朝陸海空各部隊協力の中に多
大の戰果を收めつゝ海州を攻略せり。

我が陸軍精銳部隊は海空よりする海
軍新銳部隊の緊密適切なる協力の下に二
月二十六日並に三月一日の兩日未明山東

省南端安東衛及び北部江蘇省灌河口にお
ける敵前奇襲上陸に成功せり、續いて隨

所に退却せる敵を擊滅或は掃蕩しつゝ週
江作戦を以て海州方面の敵の退路を遮断

りこれを攻撃して三月四日早朝完全に海
州を占領せり。

我が友軍の空中よりの偵察によれば四

日午前九時五分海州攻略の一番乗り部隊
は海州の北門より續々入城しつつあり市

民は各自に日章旗をもつて堂々たる皇軍
の武威に驚異しつゝ歓迎してゐる。

三月五日

海州一番乗りの山本部隊の主力は五日
朝堂々海州に入城した山本部隊に引續い

て安東衛に上陸せる平野部隊、隴海線沿
ひに東進した中島部隊宿遷を發し沫陽を

經て海州に突入した片野部隊灌河敵前週
航上陸に成功北上せる生田部隊の各部隊

は果と相前後して海州に入城六日午前に
は陸海兩軍部隊長の晴れの海州入城式が

行はれる事になつた。壟溝占領さきに淮
陰及び海州の攻略成るや連雲港周邊の敵

は續々退却を開始せり同地城一帯に亘り
抗を排して進撃、三日壟溝を占領、引續

き水上部隊と協力戰果を擴充中なり、
尙海軍航空隊は、海州壠水鹽城附近の偵

察、攻撃に任じ所在の敵に大打撃を與へ

た。

又靜樂（太原西北方約百キロ）攻略の北

方部隊として寧武方面から南下進撃中の
中村部隊は四日朝南屯から南進して永安
鎮を占領したが、五日朝靜樂に殺到同地
をも占領した。

三月六日

鍾祥（安陸）を東北側より猛撃する使
命を帶び大洪山脈を踏破して漢水東岸の
平野に進出した近藤、竹中、片岡、兒

玉、五峯の各部隊は五日午後鍾祥北方十
五キロの敵據點長壽店に突入これを占領
した。

海軍の第四次艦艇充實計畫に伴ふ昭和
十四年度分追加豫算一億七千二百萬圓
審議中に衆議院豫算總會で米内海相はこ
の新艦艇充實計畫は次の諸點を基調とし
ての樹立されたのであることを明瞭にし
た即ち（一）帝國海軍の軍備計畫は世界に
おける最大の海軍國を目指としてゐる。

（一）米國の新ヴィンソン案及び英國の軍
備四ヶ年計畫は共に考慮されてゐる（一）
東亞の新秩序建設工作途上に於て外交上

の摩擦が発生したる場合に於てもなほこれを克服するに足る實力を保有する(一)新艦艇充實計畫の繼續事業で昭和十四年度に頭を出す(二)日本に最も關係の深い國が更に軍備を増強すれば我海軍としてもこれに對應する計畫を立てゝ行く然し列國との摩擦は外交手段によつて緩和されることはもとより望ましい。

三月七日

我陸軍航空部隊は三月六日、連日の雨雲の霧れるのを待つて支那共產軍の大根據地延安及び寧夏省を爆破せり、即ち松山、野本、島田、酒本、栗原各部隊の三十數機は午後三時四十分前後連續的に延安市街中央及び東部の共產軍使用兵舎並にその軍官學校に對し猛撃を加へ佐瀬、鈴木各部隊長等の率ゐる二十數機は午後四時頃寧夏省城内の共產黨防備及び同軍隊居住の各所公共建築物を爆撃し多大の損害を與へた。我方は損害なく全機無歸還せり。現在我國の對外無線電信電話の通信は

電信において二十六方面、電話は十三方面と通信してゐるが遜信省は國際電気通信會社の擴充に伴ひ日滿支三國にケーブル網を架設するに對應して昭和十四年度より五ヶ年計畫二千二百萬圓の豫算をもつてこれが新設擴充並に回線增加を計畫してより無線電信の對外通信にあつては新設△對米ニューヨーク、カナダ、ペル

コロンビア△對歐スエーデン、チエツコ

スロ伐アキヤ△對極東、南洋、南京、廣東、香港、青島、蘭領印度、蒙疆、濠洲、南亞、エジプト、マレイ、イラン

同線增加 桑港、ロンドン、ベルリン、

上海、英領印度

無線電話 カナダ、ブラジル、フランス

英領印度、上海、香港、廣東、濠洲、シリヤ、南亞、エヂプト、和蘭、マレイの

十三方面と新たに通話を開き臺北に對して

は回線を増加する旨を説明しこれと關聯

して寫眞電送は支、英國ドイツ米國ブ

ラジル、アルゼンチン、チリ、英領印

三月八日

昭和十三年五月商工省告示第百四十二號

(綿糸販賣價格取締規則第一條第二項ノ規定ニ依ル綿糸ノ種類及最高價格ニ關スル件) 中改正(商工省告示第四九號)公布
(宮内省告示第七號) 本月二日午後四時三十五分御誕生アラセラレタル内親王御名ヲ貴子ト命セラレ清宮ト稱セラル

昭和十四年三月八日

宮内大臣 松平 恒雄

無役法中改正(法律第一號)國史館造營委員會官制勅令(第四二號)公布

八日午後の衆議院豫算總會において堤康郎氏(民政)より政府の生產力擴充計畫に

關し政府の祕密主義を攻撃し最大限度の内容を公表して國民の協力を求むべきであると再三追究の結果資本企畫院總裁は「昭和十三年度を基準として十六年度に完成する生産力擴充計畫の増産割合並に十六年度において日滿支を通じて自給自足出来ると見られる物資につき外國に對して國力を知らせないといふ程度において其の數句は左の如し。

一、昭和十三年度を基準と致しまして十六年度に於てこの計畫が完成致しました場合にどの分の割合で増産をするかと云ふ大體の割合を申上げます、鋼材に於きましては普通鋼が約六割の増産になりま

す、特殊鋼及び鍛鑄鋼は約二倍近くの増産となるのであります、鋼塊は約六割増銑鐵は納二倍、鐵鑄石は二倍と五割・石炭は三割強何れも増産の割合であります尙念の爲申上げますが輕金屬に付きましては先程申上げました軍用資源たる性質

ニユーラムに付きましたは數倍と云ふ程度に御諒承を願ひますマグネシウムに付きましたは十倍近くの増産といふ風に御諒承を願ひます銅は八割強、鉛は約九割。

亞鉛は約七割、錫は約倍額程度の増産になります、石油及びその代用燃料に付きましては自動車の揮發油は天然の分は三割強の増人造石油の分が約三十倍となります、重油は天然の分が約四割増、人造の分が約九倍となります、無水アルコールは十三倍強の程度であります、曹達灰は二割強、苛性曹達が四割強、工業鹽は六倍半『硫酸アンモニヤ』が約四割『ペルプ』は製紙用が約二割、人絹用が三倍

と二割強、金が二割強工作機械が二倍と六割強、機關車が約三割、客車が七割強貨車が約五割、自動車が五倍強、羊毛が三倍と四割大體この程度と御諒承を願ひます。

一、昭和十六年未に於きまして日滿支を通じて大體自給自足の目的を達し得る品

目は鐵鋼、石炭、輕金屬、亞鉛、曹達、硫安、パルプ、鐵道車輛、自動車、船舶等であります」

三月九日

自島根縣八束郡竹矢村至同松江市津町十八號國道改良工事昭和十年三月九日終了シタル旨告示（内務省告示第九九號）興亞院連絡部職員定員ニ關スル件（勅令第四六）號興亞院連絡部及興亞院連絡部出張所設置並ニ關スル件（閣令第三號）

公布。

三月十日

興亞院の華北、蒙疆、華中、廈門各連絡部長官の發令。

陸軍中將 喜多 誠一

任興亞院華北連絡部長官

陸軍少將 根本 博

任興亞院華北連絡部次長

陸軍少將 酒井 隆

任興亞院蒙疆連絡部長官

海軍中將 津田 静枝

任興亞院華中連絡部長官陸

護軍少將 楠本 實隆

任興亞院華中連絡部次長

三月十一日

今事變に國の華と散つた忠勇なる將兵に

對する（論功行賞陸軍第八回分、海軍第

七回分）は輝く陸軍記念日の翌十一日一

齊に發表された、今年最初の行賞で人員

は陸軍三千三百七十四名、海軍二百六十

一名、合計三千六百三十五名、うち金鷲

勳章を賜はつたものは陸軍三千二百三名

海軍百八十四名、計三千三百八十七名の

多數に上り、陸軍では「昭和の軍神」戰

車隊長故西住小次郎大尉（功四旭五）以下

二十三勇士が殊勳甲として優賞されまた

海軍では飛行艇の故加藤仁太郎少將（功

三旭中）敵十三機擊墜の荒鷹故古賀清登

航空特務少尉（功五旭七）以下十一勇士が

武功卓越して優賞されてゐる、主なる地

區は陸軍は激戦の台兒莊をはじめ山西、

徐州附近等北支、中支の各地に亘り海軍

は揚子江沿岸、連雲港、廈門のはかバイ
アス灣から廣東が今度初めて含まれて居
り、戰死、戰傷死の期間は陸軍一昨年八
月二十三日乃至昨年十二月五日、海軍一

昨年十二月九日乃至昨年十一月二十七日
に亘つてゐる、なほ次回は來月になる見
込であるが今回までに厚き恩賞に浴した
戰死、戰傷病死將兵は實に陸、海軍累計
三萬七千六百五十餘名に上つたわけであ
る。

大坊集附近の敵を殲滅、敗敵を南方に追

擊中の平岩部隊は十二日拂曉、陽を完全

に占領した。

畏き邊に於かせられては去る二月十八

三月十二日

大坊集附近の敵を殲滅、敗敵を南方に追
擊中の平岩部隊は十二日拂曉、陽を完全
に占領した。

日中支方面狀況實視の爲侍從武官海軍大

佐候爵醜忠重を支那方面艦隊へ御差遣

あらせられたり、同武官は上海に於て及

川支那方面艦隊司令長官に對し將兵慰

問の畏き誓旨並に令旨を傳爾達來約三週

間に亘つて岳州に至る揚子江流域各地の

狀況を具に實視され本三月十二日上海發

歸還の途に就かる、尙畏き邊よりは現地
將兵に對し清酒並に御紋附煙草を下賜あ
らせられたり。

三月十三日

蔣政權交通部の公部の公式發表によれ
ば重慶ハノイ間の直通郵便及び旅客飛行

は愈十四日より開始されることとなつ
た、スケジュールは重慶出發後途中昆明
に着陸その日のうちにハノイに到着の豫

定で旅客運賃は四百五十元である、右航
空路は蔣政權とニールフランク會社との
交渉が圓滿に成立した結果開設されたも
ので去る七日中國航空公司機が試驗飛行
を行つた。

四十六億圓の巨額に達する明年度臨時軍
事費豫算案（本年二月以降一ヶ年分、陸

軍三十億四千萬圓、海軍八億一千萬圓、

豫備費六億五千萬圓）は明年度一般會計
軍部追加豫算案と切り離して十日衆議院
から貴族院に送付されたが貴族院では十

三日の本會議において最終審議を行ひ同豫算案は貴族院を通過しこゝに本議會審議の最も大きな對象となつてゐた。明年度臨時軍事費豫算が成立するに至つた、そこで豫算案はさきに三十六億の總豫算が成立し十三日臨時軍事費が一足遅れて成立、後は日下衆議院豫算總會で審議中の軍事費を中心とする九億餘萬圓の明年度追加豫算案と一兩日中に提出され文治關係の一九千萬圓の明年度追加豫算案が殘る譯である。

南支方面一、閩粵海面の監視及び航行遮斷に任ずる我が海軍部隊は十日その飛行機を以て福州、方面附近の偵察攻撃を行ひ福州の鎖鑰たる金牌門砲臺を爆撃し相當の損害を與へたり、更に十一日には泉州東北岸崇武附近に聚集せる多數の敵軍用舟艇群を砲爆撃し之に多大の損害を與へるとともに午前福州方面の偵察攻撃を後泉州附近の偵察を實施せり

は九日夜より珠港灣内敵敗殘舟艇の掃蕩を開始せり、十日香洲灣内においては陸上より相當の抵抗ありしもこれを制壓し敵舟艇を拿捕するとともに多數の軍需品を鹹獲せり

北支方金一、海軍航空部隊は十、十一兩日に亘り灌河以南射陽河及び阜寧南方一帶を偵察し、十一日射陽河中流左岸に據る敵及び同右岸南方クリークを南下中の敵兵搭載の舟艇群を攻撃し、これに多大の損害を與へた、尙他の航空部隊は十日山東省平度東方の敵遊擊隊據點を爆撃相當の損害を與へ、十一日には灌河、射陽河北面の敵狀を偵察せり。

二、威海衛陸戰部隊と共に十日文登方面に散在する約五百の敵を掃蕩これに多大の損害を與へ、十一日文登に入城同日夕刻全隊威海衛に凱旋せり。

去る十日海州西南方房山鎮附近においてわが包圍攻撃に遭ひ逐漸的打撃を受けて潰亂狀態に陥り南方に退却した敵正規軍はその後海州西南方五〇キロの湯岬附近に再び集結したのでわが生田部隊これを急進し十二日暗夜を利して寡兵よく敵を擊破し午後八時遂に湯鎮を占領して敵を潰滅せしめた。この戦闘で敵の遺棄死體は二百に上りわが方は小銃弾四萬發、砲弾五十發、チエコ銃三、軍馬四十、行李百六十、自動車二、その他多數の武器を鹹獲した。

米内海相は十三日の衆議院豫算總會に於て三田村武夫氏(東方)の質問に對し東亞新秩序の建設に際して生ずる事あるべき外交上の摩擦に對する海軍の決意を次の如く再び返し強調した。一、東洋和平確立のためには摩擦も當然起るであらう、之は出來るだけ外交交渉によつて解決してゆくことに努力するが萬一の場合外交交渉でうまくゆかぬこともあらう、かかる情勢を考慮して今後の巨額の豫算を提出した次第である。

維新政府當局は十三日イギリスの對蔣信

款問題に對し當局談を發表し、イギリス
援蔣政策は戰亂を長引かせ東亞新秩序建
設を妨害せんとするもので明らかに我が
支那民衆に對する敵對行爲なりと斷じて
れに對しては强硬なる對應策をとるべき
要を痛感すると述べた。

三月十四日

天皇陛下には十四日事變以來はじめて
多摩陵に御親拜、大正天皇の神靈に事變
の經過と興亞の鴻業とを御親告あらせ給
ひ更に神奈川縣高座郡大野村の臨時東京
第三陸軍病院へ行幸遊ばされた。

官國幣社以下神社祭祀令中改正（勅令
第五八號）府縣社以下神社ノ神職ニ關ス
ル件中改正（勅令第五九號）府縣社以下神
社の神饌幣帛料供進ニ關スル件改正（勅
令第六〇號）昭和十三年勅令第二百四十
一號中改正（勅令第六一號）招魂社ヲ護
國神社ト改稱ス（内務省令第一二號）公布
岡本、金丸藤田各部隊は、順德附近に
蟠居する多數の敵遊擊隊を奇襲し、十二

日未明、折柄の霖雨を衝いて舟艇を以て
襲撃午後二時三十分順徳を完全に占領し
た。陸軍航空隊は快晴を利して十四日大

舉陝西省の赤都西安、寶雞を同時刻に二
隊に分れて空襲し多大の戰果をあげた然
々全機無事歸還した。中支方面では昨十

三日海軍航空隊の有力部隊は内陸一帯に
たち罩めたる密雲を衝き修水南岸程家及
び樂平を空襲し多大の損害を與へたり。

南支方面では海南島南部に活躍中の海
軍陸戰隊は十一日九所市を經て崖縣の西
方樂羅市に進撃、之が掃蕩を完了せり、
尙海軍航空隊は十二日雷州及び廉州を急
襲、城内外の敵陣地を爆撃これに大損害
を與へたり、相當の地上銃火を蒙りたる
も我が方損害なし。

陸の荒鷺山瀬部隊中村機長の指揮する
新銳機は十四日午前〇〇基地を飛出し折
柄の快晴を衝き鄭州東北方二五〇キロ東
岡集を急襲し同地の軍事施設を完膚無き
までに爆撃、全機慄々無事歸還した。

近衛首相の言

「人類文化の發展は、國民と國民との
關係を進化に向つて、新に整合を必要
ならしめるに至つて居ります。東洋と
世界の新秩序とは支那事變の推移を通
じて帝國不動の國策的實踐となつたの
であります。これは當然根柢に日本精
神の發展と世界に於ける世界觀の革更
を以て世界史の新章を創むることを意
味します。東亞協同體的理念はその有
力なるものゝ一である事を疑ひませ
ん。